

## 幼稚園・保育園・認定こども園

## 2024年度の入園児を募集します

来年4月からの幼稚園・保育園・認定こども園の入園申込みを受け付けます。出産、育児休業復帰などで年度途中から入園を希望する方、出生前の児童の申込みもできます。保育園・認定こども園入園児募集の詳細は、市ホームページで確認してください。

※新規申込者が多数の場合、入園を制限することがあります。

※転入予定の方、本市以外の市区町村の幼稚園、保育園、認定こども園に入園希望の方は別途相談してください。



市ホームページ

## 幼稚園

▶**対象** 2018年4月2日～20年4月1日に生まれ、園区内に住民登録がある児童

▶**申込方法** 10月下旬に各家庭に案内文を郵送。11月8日(水)～30日(木)に各幼稚園で申込み(土・日曜日、祝日を除く。保育の都合上、午後2時～4時の受付)

※特別の事情で園区外の園を希望する方は別途相談してください。

※幼稚園保育料は無料。幼稚園児が公立の放課後児童クラブを利用する場合の使用料も無料です。

## 保育園

▶**対象** 市内に住民登録があり、保護者の就労や病気などで保育園での保育が必要な就学前の児童

▶**申込方法** 11月8日(水)～30日(木)に次のいずれかの方法で申込み

▷**紙による申請** 幼児育成課、各振興局地域振興課、市内各保育園にある申込書類〔11月1日(水)から配布〕を幼児育成課または希望の保育園に提出(土・日曜日、祝日を除く)

▷**オンライン申請** 市ホームページにある申込フォームで申込み(新規申込みのみ)

## 認定こども園

▶**対象**

①**保育認定児** 保育園の対象児童と同じ

②**教育認定児** 市内に住民登録があり、入園対象年齢(3～5歳児)に該当する児童

▶**申込方法**

①**保育認定児** 11月8日(水)

～30日(木)に次のいずれかの方法で申込み

▷**紙による申請** 幼児育成課、各振興局地域振興課、市内各認定こども園にある申込書類〔11月1日(水)から配布〕を幼児育成課または希望の認定こども園に提出(土・日曜日、祝日を除く)

▷**オンライン申請** 市ホームページにある申込フォームで申込み(新規申込みのみ)

②**教育認定児** 11月8日(水)～30日(木)に各認定こども園で申込み(土・日曜日、祝日を除く)

※このとり認定こども園(戸牧160-3)の教育認定児の申込方法・申込期間は前述と異なります。直接、園にお問い合わせください。

## 放課後児童クラブ

## 2024年度の入所者を募集します

▶**申込期間** 11月8日(水)～30日(木)

※土・日曜日、祝日は除く

▶**対象** 市内の小学校に就学する放課後留守家庭児童(市内に住所を有する児童に限る)で、1年を通して利用希望の方。受入れに余裕がある場合は、幼稚園児(認定こども園児、2012年度以降2年制保育となった幼稚園の4歳児は除く)も対象

※育児休業復帰や仕事を始める予定のある方などで、年度途中からの利用を希望する方も申し込んでください。

▶**利用時間** 小学校の下校時間～午後6時30分 ※幼稚園児の利用時間は、午後4時まで

▶**その他** チラシや申込用紙〔11月1日(水)から配布〕などは、幼児育成課、各振興局地域振興課、および各放課後児童クラブにあります。パソコン、スマホから24時間申請可能なオンライン申請も受け付けます。

※詳細は市ホームページで確認してください。



《問合せ》幼児育成課 ☎29-0053



■水道課 ☎22-5377 FAX24-2985

■下水道課 ☎22-1801 FAX22-1803

■水道お客さまセンター

☎22-5378 FAX22-5466

水道メーターの検針、水道の開栓・閉栓、  
上下水道料金の請求・徴収

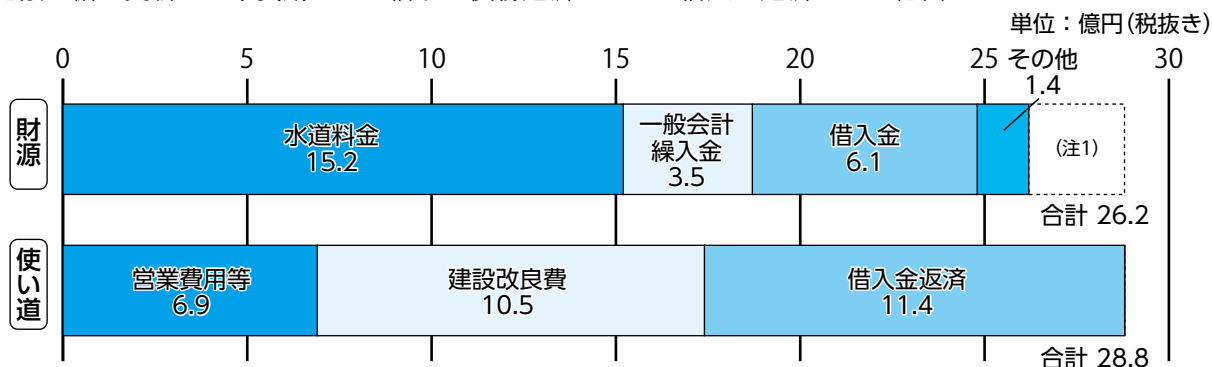
## 2022年度上下水道事業 決算の概要

2022年度上下水道事業の決算概要は、水道事業会計の現金収入が26.2億円、現金支出は28.8億円でした。下水道事業会計の現金収入は72.9億円、現金支出は71.7億円でした。

### ■ 水道事業会計

#### 財源と使い道

財源(収入)では、水道料金が最も多く15.2億円でした。使い道(支出)では、水をきれいにし、家庭に届けるための営業費用等が6.9億円、施設整備や給配水管の更新に使う建設改良費が10.5億円、過去の施設整備や更新の工事費用として借りた債務返済のための借入金返済が11.4億円でした。

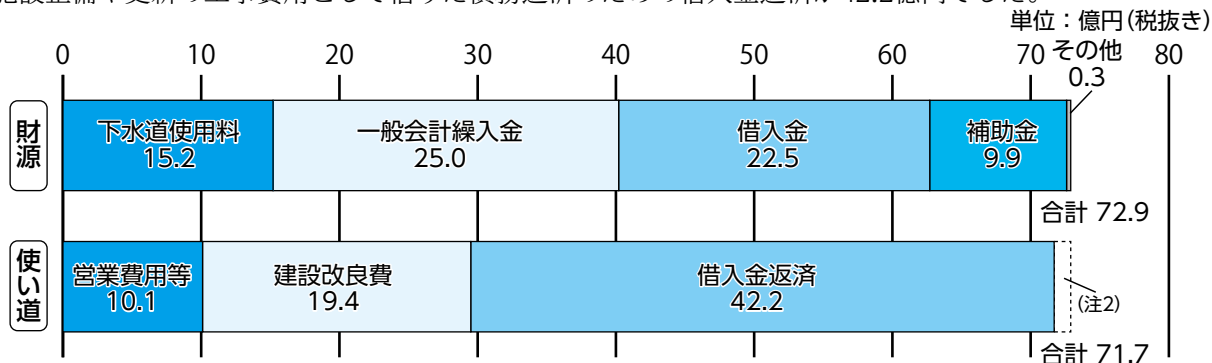


(注1)水道事業会計は財源より使い道が多いですが、前年度以前に企業内部に留保された金額を充てています。

### ■ 下水道事業会計

#### 財源と使い道

財源(収入)では、一般会計繰入金が最も多く25億円でした。使い道(支出)では、雨水の排水や汚水を集めて浄化するための営業費用等が10.1億円、施設整備や更新に使う建設改良費が19.4億円、過去の施設整備や更新の工事費用として借りた債務返済のための借入金返済が42.2億円でした。



(注2)下水道事業会計は財源より使い道が少ないですが、次年度以降の建設改良費や借入金返済の資金として企業内部に留保しています。

※ これらの表は、2022年度決算のうち、現金収支に着目して作成したもので、減価償却費等は除いています。

上下水道事業は皆さんからの水道料金と下水道使用料などを財源に、暮らしを支えるライフラインの確保に不可欠な事業を実施しながら、効率的な財政運営に努めています。

このうち水道事業については、適切な水準の料金収入を確保し、財源と使い道の金額の差を解消するため、本年4月から水道料金を改定しました。

今後も、安全・安心で良質な水道水の供給と衛生的な生活排水処理、そして環境にやさしい水質保全に向け、適切な事業を行い、市民サービスの一層の向上に努めます。